

## 口は健康のもと Vol.122

### 歯のエックス線写真で動脈硬化がわかる ～脳梗塞予防に効果～

私たちの体には新鮮な血液を運ぶ動脈が張り巡らされています。しかしながら、高コレステロールや高脂血症などが原因で動脈が硬くなり、狭くなる動脈硬化が起こることがあります。動脈硬化がひどくなると、血管の一部がちぎれて脳の血管を詰まらせ、脳梗塞を引き起こす恐れがあります。このような脳血管疾患は三大死因の一つです。仮に一命を取り留めたとしても、リハビリや介護に多くの労力が必要となります。もちろんご本人の負担は計り知れません。

動脈硬化の進行に伴い、血管の一部にカルシウムの蓄積がみられるようになります。このカルシウム蓄積は血管が分岐するところにおきやすいことが知られています。歯や口の周りでは、下あごの角のあたりにこの分岐部があります。最近の知見により、歯のパノラマエックス線写真で動脈硬化を示唆するカルシウム蓄積を検出できることがわかり、動脈硬化が疑われる変化を見つけることで脳梗塞を予防できる可能性が判明しています。

ご心配な方は、一度かかりつけの歯科医師、または我々にお尋ねください。



奥羽大学歯学部附属病院

放射線科 准教授 原田 卓哉

